

新潟労福協

No.2 2010年7月12日
一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会
950-0965 新潟市中央区新光町6番地2
Tel 025-281-0890 Fax 025-281-0891
E-mail: ni-rfk@beige.plala.or.jp
URL <http://niigata.rofuku.net/>
発行人 江花 和郎

新潟労福協が第25回定時総会開催 引き続き県LSC総会後、記念講演会を実施



一般社団法人新潟県労働者福祉協議会を構成する団体紹介

日本労働組合総連合会新潟県連合会（連合新潟）、新潟県労働金庫、新潟県総合生活協同組合、（財）新潟県労働者信用基金協会、（財）新潟県勤労者福祉厚生財団、（株）コープサービス

県労福協第25回定時総会

新年度事業計画・予算を確認

組織と財政基盤の強化・拡大図り、勤労県民の生活・福祉向上へ



昨年6月に一般社団法人に移行した新潟県労福協の第25回定時総会が6月9日(水)新潟東映ホテルにて開催されました。

江花理事長が1年間の振り返りと課題提起の挨拶、続いて、新潟県と新潟市より来賓祝辞が述べられました。

議事では2009年度の事業報告・決算報告が米田事務局長より、同監査報告が長崎監事より行われ、全体の拍手で承認されました。報告では新規加入会員として(財)新潟県勤労者福祉厚生財団、(株)コープサービスが加わり構成会員は6団体となりました。続いて、第81回理事会(3月17日開催)で議決された2010年度事業計画書、同収支計画書について金子専務理事からポイント説明がなされ、報告同様全体の拍手で確認されました。特に組織・財政基盤強化と、懸案となっている勤労福祉会館の運営に関する討議状況が説明されました。



退任挨拶の青海氏

最後に、会員内の役員交代に伴う役員補選が提案どうり確認され定時総会は終了しました。

県LSC第3回通常総会

新年度事業計画・予算を提案通り決定

第二次設置完了し、第三次設置の展望検討へ

労福協総会に引き続き、同会場にて県LSC(ライフサポートセンター)の第3回通常総会が開催されました。

2009年度の活動報告、決算報告、監査報告がなされました。正会員1、地域会員2、賛助会員1が拡大された事も含めて、拍手で承認がなされました。育成会や夢咲Club事務局が県LSC内に転入したことに伴い、両事業との連携が模索されることも確認されました。

第一次設置地域の5か年計画に基づくサテライト化の遂行と、第二次設置地域の実施目標が設定されました。各地域での応援団の編成、組織・運動のネットワーク化、会員拡大・資金づくりなど盛り沢山の活動計画が提案どうり確認されたところです。第三次設置地域の県央、柏崎に対する展望も検討されることとなりました。

予算関係では第二次設置地域の新潟と下越のLSCが国の基金活用で展開されることによる合算で組立られました。

両総会後

労福協役職員研修会を実施

中央労福協高橋事務局長が記念講演



中央労福協 高橋事務局長

6月9日午後の総会后、労福協役職員研修会が行われました。「これからの社会に果たす労福協の役割」と題した記念講演が中央労福協の高橋事務局長を講師にお招きして開催されたもの。

講演は①中央労福協と労働者自主福祉団体誕生のいきさつ、②貧困社会日本からの脱却～連帯協同でつくる安心・共生の福祉社会、③労福協2020年ビジョン、④労福協運動の理念(福祉は一つ)と求められる運動スタイル、という大きく4つの起承転結で、分かり易い内容でした。

高橋氏は、90年前に執筆された河上肇の「貧乏物語」と現代社会を綴った湯浅誠の「反貧困」が書店で並べて置いてある現実から、①労働運動の課題、②労働者自主福祉運動(事業団体)の課題、そして③労福協運動の課題に整理して、求められる労福協運動のスタイルとして具体的事例を提示して話されました。

「政権交代で社会が変わったのではなく、社会の底辺が変わったから政権交代する必然性が発生した。」と、これまた具体的事例を示し、各種データを基に、これから目指す運動の方向について説得力ある講演が行われました。

はたらく人の、生活応援バンク **ろうきん**

それが(ろうきん)の使命だからです。

今こそあなたのチカラになりたい

〈ろうきん〉は雇用と所得環境の悪化にともない、離職された方、家計収入が減少した方の生活を支援します。

利用中のローン返済でお困りの方は
ぜひご相談ください。

新潟ろうきん 検索

新潟県労働金庫 ☎0120-191-880 (平日9:00~17:00)

働く女性・子育て世代をサポートします

KuruCo クルコ

総合生協の宅配

●お申込みお問合せ
KuruCoコールセンター
☎0120-025-261 総合生協 検索

第23回チャリティーゴルフコンペ開催

強風でもプレーを楽しみ、友好深める 2施設代表招いてチャリティ金を贈呈



5月12日(水)フォレストカントリー倶楽部に
て第23回チャリティーゴルフ大会が県労福協主催
で開催されました。

大会当日は生憎の曇天・強風の悪コンディショ
ンでしたが、参加者73名は持ち前の腕で奮闘。
それぞれにプレーを楽しみ、友好を深めあうこと
ができました。参加者の厚意により集まったチャ
リティ金134,500円に労福協の寄付金等を
合算して、二つの施設・団体に対して江花理事長
より各7万円が贈呈されました。ご協力ありが
うございました。

(尚、中川令子様からの募金1万円を含みます)

チャリティ金贈呈先

◎関川村地域活動支援センター さくら工房
精神、知的、身体障害者の通所施設
岩船郡関川村上関1244-1

◎NPO法人 はとの会
聴覚障害者作業所
新発田市中央町3-4-4

大会の上位入賞者

東コース優勝者	長谷川正喜	コープサービス
西コース優勝者	武石 功二	情報労連
総合 準優勝	長橋 晃	情報労連
総合 三位	渡辺 貴裕	連合新潟
東ベストグロス	保坂 和成	電力総連
西ベストグロス	田中 秀俊	情報労連

第11回定期交流団

新潟から代表団6名が訪中視察

青海省大地震被害に対する見舞金を贈呈

中国・黒龍江省総工会との国際交流協定に基づ



く第11回定期
交流団が、5月
26日から6月
2日までの1週
間、中国各地を
訪問しました。

齋藤敏明：連合新潟事務局長を団長とする6名
の訪問団は5月26日にハルビン市内で総工会の
侯純祿副主席、王淑霞副主席をはじめ、孫傳信国
際部長、章耀南国際部副部长ほかのみなさんと夕
食をとりながら親しく懇談し、友好を深めました。
また、席上、齋藤団長が今年4月に発生した
青海省大地震被害に



に対する連合新潟・新
潟県労福協の見舞金
を侯副主席に贈呈し
ました。
一行は27日に北
京へ移動し、その後
西安・杭州の各地で
中国4000年の歴史遺産や大都市の発展ぶりに
驚愕・感動しながら、6月1日午後、上海に入り
ました。



上海では万博会場が
唯一の訪問先でした。
人気展示館への入館は
無理と当初からあきら
めていましたので、
もっぱら雰囲気味わ
おうと、広さと人の多
さに辟易しながらも場内を精力的に歩き回り、午
後5時過ぎ、疲労こんぱいの体で会場を後にしま
した。

6月2日、代表団は1週間献身的にお世話くだ
さった総工会・章さんに心から感謝しつつ、新潟
への帰途につきました。

6月2日、代表団は1週間献身的にお世話くだ
さった総工会・章さんに心から感謝しつつ、新潟
への帰途につきました。

暮
ら
し
な
ん
で
も
相
談



◎宛先

〒951-8565 新潟市中央区寄居町332番地38 新潟県労働金庫内
(財)新潟県勤労者福祉厚生財団「暮らしなんでも相談室」

ニッポンの
原動力・連合
すべての働く者のために頑張る!

希望と
安心の
社会づくり

連合新潟結成20周年 シンポジウム

- ・日時 8月8日(日) 14:00
～16:00
- ・会場 新潟市万代市民会館
- ・講師 金子 勝氏
(慶應義塾大学経済学部教授)

映 画

「CATERPILLAR」

8月14日～
シネ・ウィンド
寺島しのぶ(主演)
／ベルリン映画祭で
銀熊賞受賞
連合新潟で前売券
取扱中

ロシア・ハバロフスク少年少女友好使節団

新潟に招いて交流と視察活動展開

児童・生徒15名と引率者3名が来新して交流

第18回(通算21回)ハバロフスク少年少女友好使節団が6月23日(水)に交流を目的に新潟労福協を訪れました。

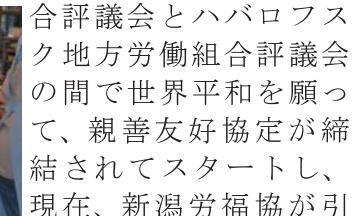
この事業は、1966年に当時の新潟県労働組合評議会とハバロフスク地方労働組合評議会の間で世界平和を願って、親善友好協定が締結されてスタートし、現在、新潟労福協が引き継ぎ18回を迎えたものです。

一行は9歳から16歳までの男女15名と引率・通訳3名の計18名の団で、佐渡市の二宮小学校・相川小学校を訪れ、児童交流や島内見学などを行いました。1週間の滞在で、新潟市山の下の小中学生とスポーツ交流をしたり、十日町市の川西中学校でのスポーツ交流、着物試着などを楽しく体験しました。後半では新潟市内でサントピアワールド

や水族館、市内観光を楽しみました。また、新潟県庁や新潟市に表敬訪問を行うなど盛り沢山の企画が予定通り実施されました。

来月8月には新潟から小中学生8名がハバロフスクを訪れる友好親善の旅が企画されており、相互交流の輪が重ねられています。

訪れた小中学生は、帰国前日の夕食お別会でも元気モリモリでした。はじめての日本で、スポーツで交流した事や着物試着などの思い出を携えて国際交流につながる事が期待されます。



中央労福協主催

全国研究集会で協働労働、改正貸金業法研修

新しい働き方の一つとして法制化運動が進められている協働労働や改正貸金業法に対する対応が重要な段階に入っている中で、6月3日から4日にかけて名古屋市にて全国研究集会が開催され、新潟労福協から江花理事長、田才副理事長、金子専務理事の3名が参加。

「新しい公共と市民事業者の役割を考え、改正貸金業法の成果と課題を考察する」をテーマに7講座＋パネルディスカッションというハードスケジュールながら内容濃い研究集会となりました。



当面の主な活動予定

7月20日(火)地域LSC再編とサテライト化対策会議
8月2日(月)～3日(火)

中央労福協・地方労福協会議

8月4日(水)～11日(水)

ハバロフスク少年少女友好使節団派遣

8月6日(金)第83回理事会

8月31日(火)～9月1日(水)

東部ブロック第178回幹事会

9月3日(金)～4日(土)

東部B福祉リーダー塾フォローアップ

9月18日(土)第20回勤労者駅伝大会

9月22日(水)～29日(水)

ロシア・ハバロフスク視察団派遣

10月 日 第84回理事会

10月7日(木)～8日(金)

中央労福協・地方労福協会議

10月15日(金)東部B福祉リーダー塾修了式

10月28日(木)～29日(金)

東部ブロック第179回幹事会

勤労者の暮らしをサポート 育成会

育成会は労金会員が設立した組織。県内に働く勤労者とその家族の暮らしに役立つ活動を支援育成することが主な目的です。平成21年度は県内各地で以下の活動が行われました。

- ・文化講演会、福祉施設への助成
- ・ライフプランセミナー(多重債務問題)、住宅セミナー
- ・プロ野球観戦、サッカー観戦ツアー
- ・ゴルフコンペ、ボウリング大会

夢咲Clubの活動

●労働金庫、総合生協、その他団体が行う勤労者福祉事業の利用をはかること。

●会員の生活向上および相互の親睦をはかること。

●会員の福祉活動に関する知識の向上をはかること。

会員には四季を通じて情報誌(夢咲club通信)をお届けしています。



育成会と夢咲Clubの事務局は「新潟県ライフサポートセンター内」に移転しました。

連絡先 Tel 025(281)1188

E-mail: ni-lscr@apost.plala.or.jp

にいがたLSC（ライフサポートセンター）

新事務所で事業開始 行政・福祉団体との連携に期待



序幕する田代LSC理事長と江花理事長



6月5日(土)にいがたLSCは新しい事務所にオープンセレモニーを開催。バスセンターの2階から3階への移動で、連合新潟地協、高齢協、地区労福協が共同で運営されるもの。

セレモニーでは主催者を代表して田代理事長が挨拶、来賓として江花和郎県LSC理事長（連合新潟会長）、2階のショップを新潟市から受託する福祉団体25施設を代表して、ほがらか福祉園の岩崎園長から祝辞が述べられました。

今回の移動にあたり、新潟地協をはじめ、新潟交通労組や新潟市のご尽力が功を奏したもので、福祉団体との協働事業がLSC活動にも大きな影響を持つものと期待されます。福祉団体は土・日曜日を中心に従前の2階のLSC事務所を活用して、施設利用者が作成した商品販売などを行います。高齢協やOB応援団も現役組との連携活動を心待ちにしており、新しいスタイルの事業展開がスタートしました。

にいがたLSC新事務所開所に向け

地協・労金・生協・高齢協・OB応援団が研修

にいがたLSCと連合新潟地協は6月から土曜・日曜・祝日も相談事業を開始することから、5

月22日(土)合同で研修会を開催。

午後1時から5時までのロングラン研修で、3名から講義がなされました。林事務局長が当番業務に携わるにあたっての注意事項の説明会も行われ、研修会参加者はライフサポートセンターの当番従事をしているイメージで真剣に受講・質問を繰り返していました。



要領の説明をする林事務局長

ながおかLSC（ライフサポートセンター）

“10年度通常総会開催して方針決定 心と身体を守るセルフケア事業など推進

6月11日(金)午後1時30分より、ながおかLSCは、2010年度通常総会を開催。長岡市



労働会館にて定刻通り開会され、矢島理

事長より09年度の活動を振り返っての主催者挨拶に続き、長岡市・県地域振興局・労基署・ハローワークより祝辞挨拶がなされました。

一般活動報告、決算報告、監査報告が承認された後、10年度の事業計画と予算が提案通り決定されました。雇用・多重債務問題などから、心の病や居場所が無くて辛い思いの人たちがフリーにカウンセリング受けたり、悩みを打ち明けたり出来る新事業「心と身体を守るセルフケア」の利用者が想定より多いことなどの活動交流が全参加団体から発言されました。新役員体制では1団体が加わって編成されました。

カラスの勝手？

●地球環境問題などの大きな事柄にあまり関心のない人でも、自分の健康・命に直結する「食」に無頓着な人は少ない。今春から全国を震撼させ続けている口蹄疫（こうていえき）は、昔からある（主にヨーロッパ・中央アジア）家

畜の伝染病。口蹄疫は、この10年間、台湾全土で鎮静化と再発生が繰り返されている厄介者。

●病原菌ウイルスが「いつ・どこから・どの経路で侵入」してきたかは依然として不明。感染拡大を阻止する有効手段が「殺処分」というシンプルで強烈な手段しかない現実も、今回の大騒動で全国民が知ることとなった。かつての鳥インフルエンザでは、数万羽づつ生埋めの殺処分だったが、さすがに大型の哺乳動物では「生埋め」とはいかず？に、一旦薬殺してからダンプカーで埋立地に搬送されている。

●可哀そうなのは牛・豚たちだが、畜産農家と家族、処分作業に従事する獣医・保健所職員、県・市町村の職員、土木作業員、農業団体職員、地域住民などの多くが、経済的損失は言うまでもなく、精神的なダメージを受け続けている現実にも目を向けるべき。薬殺した牛・豚の足にワイヤーを掛けて10トンダンプに積み上げる。埋立地へ搬送して、鉄板の上に「ズシズシ」と落ろし、ブルトーザーで溝穴に「ドドドッ」。毎日、毎日、畜舎や通行車両の消毒作業、終わりが見えない。

●人間は、毎日「動物・植物を切り刻んで、生で、煮て、焼いて、生き物の命」をいただいて生きている。食物を「店頭の売物」としてだけ捉えず、家族で夕食時に「食糧＝生き物」「食糧＝農業」である事、生命は「命が命をつないで成立」している事を語り合ってほしい。

ジャーン。

クメール建築美術の至宝 「世界遺産 アンコール遺跡群探訪5日間」

旅行期間

2010年11月20日(土)~24日(水)

5日間



旅行代金

119,000円

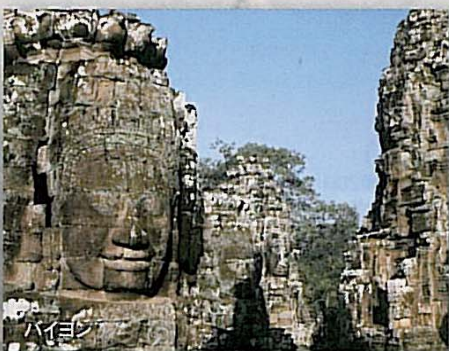
(新潟空港発着・往復エコノミークラス利用・2名1室利用お一人様代金)
※燃油付加代金・現地空港税・カンボジアビザ代は別途がかかります。

募集人員

60名様(最少催行人員/30名)

アンコール・ワットを始めとしたアンコール王朝の栄華をしのぼせる数々の貴重な遺跡群は世界遺産としても知られており、それを一目見ようとカンボジアへ足を運ぶ人々は年々増えている。

近年ではカンボジアへ訪れる観光客の増加に伴い、一流ホテルが続々と進出。遺跡の街シェムリアップでは75軒以上のホテルが建ち並び、高級志向のリゾートタイプのホテルも充実。世界遺産、アンコール遺跡群を見ながらリゾートライフを送れる時代となり、カンボジアはこれまで以上に注目されている。



「友好の旅」10のこだわり

- ◆アンコール遺跡群に秘められた不思議の数々をたっぷり、そしてゆっくりご見学頂きます。
- ◆アンコール・ワットからの感動的な日の出とブノン・バケン(プノン・バケン)の丘からアンコール遺跡群の感傷的な夕刻をご見学して頂きます。
※天候状況によってはご見学出来ない場合もございます。
- ◆1年を通して雨が少なく比較的過ごしやすいベストシーズンに訪れます。
- ◆飛び石連休をからめた出発日に設定しました。
- ◆ソウル空港乗継ぎ時間を活用して、韓国プチ観光もいたします。
- ◆本格的なカンボジア料理、クメール料理をたっぷりご堪能いただき、さらに2日目のご夕食ではカンボジアに伝わる王宮舞踏のアプサラ・ダンスショーを鑑賞していただきます。
- ◆3日目のご夕食「友好パーティ」ではお飲物(アンコール地ビール・パイナップルワイン)をサービスいたします。
- ◆ご宿泊は4つ星クラスのホテルをご用意いたします。
- ◆らくらく新潟空港発着です。
- ◆新潟空港より添乗員が一緒いたしますので、初めての海外旅行でも安心です。

●お問い合わせ・お申込みは

【募集】総合生協グループ 新潟県観光協会の旅行事業部(2011年) 全国旅行業協会正会員

コープ・トラベルセンター

〒950-0086 新潟市中央区花園2-1-6 株式会社コープサービス 総合旅行業務取扱管理者 高橋 孝

☎ 025-245-4110 【受付時間】 月曜～金曜 9:00～17:00

企画監修 新潟労福協 連合新潟・労働金庫・総合生協

【旅行企画・実施】

観光庁長官登録旅行業289号

新潟交通株式会社

〒950-8544 新潟市中央区万代1丁目6番1号